



答えはこちらから

山や崖、川や水路には

- ・大雨が降ったら
場所に身を寄せる
- ・地震が起ったら



防災

③必ず警察に通報し、学校にも連絡する。

②大きな声で

①すぐに

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら...

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には

交通ルールを守りましょう。

※自転車は「車の仲間」です。自分が「加害者」とならないように、

なるのか、日頃から考えておこう。

を忘れないために、こういう場面で自分の行動が危険なもの

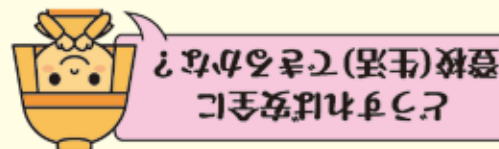
歩いているときだけでなく、自転車に乗っているときも



交通安全

3

自分の安全を守る方法を
身に付けよう！



どうすれば安全に

登校(生活)できるかな？

考えてみよう！～中学生のみなさんへ～

次のような状況の場合に、あなたはどのように行動しますか。

- 登校中に名前も顔も知らない大人に「君はどこの中学校の何年生？」と声を掛けられた。

- 学校の休み時間に、名札を身に着けていない名前も顔も知らない大人と廊下で対面した。

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。



「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。



まとめると... 地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨
地震

- ・古い建物、高さのあるブロック塀の側
- ・古く、手入れがなされていない住宅の側
- ・崖の近く
- ・河川敷や水路沿い



防災

まとめると... 誰もが「入りやすく」、誰からも「見えにくい」場所

- ・人通りの少ない道路やトンネル
- ・人気のなく、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- ・落書きやゴミがそのままにされている場所
- ・空き家と思われる住宅



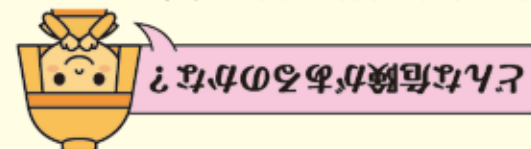
防犯

まとめると... 「飛び出し」が発生しやすい場所

- ・プロップ塀や自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- ・信号機のない横断歩道
- ・歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- ・車と車の間



交通安全



どんな危険があるのかな？

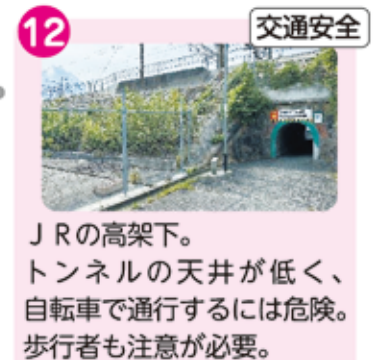
1 校区の危険箇所を知ろう
校区安全マップの使い方



2 自分の校区を確認しよう



川西中学校



〒 郵便局

地震発生時の避難場所 ()